

満足度

カシフジ
CNCホブ盤「KN152」



新規設備満足度

千エツ!!

半世紀に渡る信頼関係 高効率、使いやすさに三ツ星

納期管理の徹底に取り組むナゴヤギア(猪村美之社長)が「満足度は満点」と太鼓判を押すのは今年3月に設備したCNCホブ盤「KN152」。半世紀以上に渡る両社の交流は深い信頼関係で結ばれている。現場が評価する「使いやすい機械」に迫る。



右から猪村専務、有里技術部長、立松係長

■素材から完成品まで

ナゴヤギアは変減速機、建設機械、自動車、産業機械向けに低コスト、低騒音を特徴とした歯車を製造している。歯車の種類は主に平歯車、はすば歯車、内歯車、ピニオンシャフト。手の平に乗るサイズから径1800mmまで対応する。

設備機械は100台以上と充実。旋削、穴あけ、歯切り、面取り、キー溝加工、研磨、歯車研削加工まで、熟処理を除いたすべての工程を社内で加工できる設備を備える。素材から完成品までを自社で手掛けることで納期管理を徹底。猪村専務は「外部へ発注せずに社内対応

することで品質はもちろん、納期管理が見える。顧客の安心感に繋がる」と説明する。更に短納期の仕事を取り込めるよう効率が良く、使いやすい機械を基準に投資を進めている。

設備投資額は好不況の波に捉われることなく毎年同じ金額に設定。「景気が悪い時は安く機械が購入できるし、良い時は納期が長く入荷を待つ間に景気が下火になることもある」(猪村専務)。無理をせず均等に設備投資を行うことを基本方針としている。

■使いやすさを重視

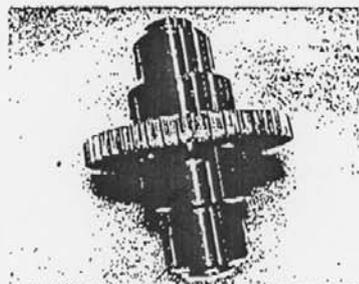
同社がカシフジのホブ盤を初めて設備したのは半世紀以上前にさかのぼる。汎用ホブ盤「KR1000」は設備して50年以上経過した現在も稼働しており耐久性への信頼は厚い。今ではカシフジのホブ盤を11台、面取り機、ホーニング盤、ホブ刃溝研削盤を含めると合計16台を設

備している。

今年3月に小径の歯切り加工を目的にCNCホブ盤「KN152」を汎用ホブ盤「KS14」の代替として設備。小径のため加工時間が短く、段取りや乗せ換え時間の短縮が必須。汎用機からフルCNC機に変えたことで作業効率が向上。KN152は量産型の機械だが、中、小ロットでも非常に使いやすいという。作業者がカシフジの機械に慣れていることもあり、一日の研修ですぐに加工を始めることができた。

立松邦康係長は「カシフジの機械で歯切りを覚えてきた」と話す入社25年のベテラン。「機械の開発にユーザーの声をより反映させることで更に使いやすくなる」と感じている。新機種が開発される度に新機能が付加され精度も向上するが、現場の作業者からすれば使い勝手の良さが最も重要と話す。

例えばNCホブ盤「KB400」は20年以上前の機械だが、ホブや



KN152で加工したピニオンシャフト

ユーザー情報

社名 ナゴヤギア
 住所 名古屋市南区滝春町9番地
 TEL 052-612-1230

ワークの脱着、プログラムの管理など作業員として非常に使いやすいという。アーバーをネジで締める必要がなくホブの付け替えがボタン一つで操作できる。プログラム番号とその中身、ホブ番号まで表示されるので目で見て今の状態が確認できるためミスが出にくく安心して加工できるという。ユーザーの目線から語られる機械の新旧と使いやすさは別問題という意見のなかに、メーカーが今後取り進むべきヒントがありそうだ。

機械の省スペース化も重要なテーマのひとつ。技術を伝承するためには汎用機が欠かせない。「汎用機で教えることで理屈が理解できる」ため「KS14も手放したくない」（有里健一郎）というのが本音。多数の機械を保有するため限りある工場内スペースを有効活用すること

が重要だ。

■ニーズを反映し開発まで

ナゴヤギアは2009年にカシフジが開発した径1200mmの歯切り加工ができる6軸フルCNC大型ホブ盤「KA1200」を国内では唯一設備している。風力発電の需要を見込んで設備したが市場が拡大せず、現在は主に建機関連の歯車加工に活用している。ナゴヤギアはKA1200の開発過程から関わり、サイズや性能などニーズが反映されている。

立松係長は「新規設備を検討する時は必ずカシフジの機械から選ぶ」と話し、その理由を「他メーカーの機械と比べて故障が少なく精度も高い」と説明する。不具合が発生した際の素早く丁寧なサービス対応にも満足している。両社が半世紀に渡り紡いできた絆はあらゆるメー



カシフジの製品ラインアップで最大の6軸フルCNCホブ盤「KA1200」

カー、ユーザーにとって理想的なものといえるだろう。

(森田洋行)

メーカー担当者コメント

営業部
 係長 堀 和幸

半世紀以上にわたり会社ぐるみでお付き合いさせて頂いているロイヤルカスタマー。「KA1200」開発時に担当を引き継ぎ、サイズや機能など相談を受けながら打ち合わせを重ねたことが印象的。歯切り加工のスペシャリストとしてお客様目線からのご意見に学ぶことの方が多い。今後も期待に応える機械、サービスを提供したい。

機械の特長 — Specification —

CNCホブ盤「KN152」

完全ドライカットを高次元で実現した環境と人にやさしい
 6軸CNCホブ盤

切削できる最大径	150mm
切削できる最大ピッチ	4Module
ホブヘッド傾け角	±45°
切削できる歯数	3~1,000
テーブル最高回転速度	150min ⁻¹
主電動機 ACスピンドルモーター	7.5kW
床面積 間口×奥行×高さ	1815×2405×2750mm

